

第2学年 教科(美術) 題材名「生徒会のシンボルマーク」

●題材の目標

- (1)・形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、自分が託した思いなどを全体のイメージでとらえることを理解する。
 - ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すこと。
- (2)・情報を伝える目的や条件などを基に、伝える相手などから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。
 - ・情報をわかりやすく伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、情報をわかりやすく伝えるための工夫などを考えるなどして、美意識を高め、見方や考え方を深めること。

す

●指導計画(全16時間扱い)

【第1～9時】

- 伝達デザインの役割を理解する。
- アイデアを練る。 ○アイデアの決定 ○配色検討

<指導の個別化> <学習の個性化>

【第10時】

- 配色の段階で、自分のデザインを振り返る。総合鑑賞を取り入れ、自分の作品を振り返り、作品の修正を加えていく。

【第16時】

- 完成した作品の相互鑑賞でスクールタクトの投票機能などを活用し、作者の表現の意図や工夫について考え、見方や考え方を広げる。

<協働的な学び>

【第11～15時】

- 下描き ○着色

<学習の個別化> <学習の個性化>

●単元(題材)における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

<指導の個別化>

- ・鉛筆や描画アプリなど自分にあったものを選ぶようにする。

<学習の個性化>

- ・作品をブラッシュアップし、より自分のイメージに近づける。

協働的な学び

<協働的な学び>

- 制作の過程で相互鑑賞を取り入れ、自分の作品について振り返り、客観視するタイミングを作る。お互いのアドバイスを制作の参考にして、改善する。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・グーグル描画アプリ ・スクールタクト

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」指導略案

美術科

指導者 橋川 小夜

クラス 2年4組

1. 題材名 「生徒会のシンボルマーク」

2. 授業のねらい

- (1) 色や形などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとにイメージで捉えることを理解する。
- (2) 情報を伝える目的や条件などをもとに、主題を生み出し、表現の構想を練る。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品などの鑑賞活動に取り組もうとしている。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
①前事の振り返りと既習事項の確認。	①他者の視点を取り入れてデザインの改善を図ることを意識させる。	
②ワークシートに相談したいことを記入する。 ③描画ツールに取り込んである自分のアイデアを確認し、配色が自分のイメージと合っているか確認する。 ④途中鑑賞の方法を確認する。 ⑤グループになり、自分の作品について一人ずつ説明する。(5分) ⑥ワークシートに班員がそれぞれアドバイスを記入する。(8分) ⑦アドバイスをもとに自分でも作品について振り返り、アイデアを修正する。	③描画ツールで作品を制作するのではないので、丁寧にやるのではなく、試すことに主眼を置くように声をかける。制作が進まない生徒を中心に机間指導を行う。 ④相互干渉をするときのマナーや方法を確認する。 ⑤褒めるだけではなく、批評的な視点をもって、お互いにアドバイスをすることを意識させる。	③指導の個別化 ⑤⑥協働的な学び ⑦指導の個別化
⑧次回の予定について片付け	⑧自習への見通しをもたせる。	

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面等)等

Google描画ツール